



# 聖流

発行  
石川県立大聖寺高校 同窓会  
2020.7.30  
同窓会会報 79号

2020年10月17日(土)に予定しておりました創立110周年記念式典は、  
来年度に延期することとなりました。



ソフトテニス部・女子



弓道部・女子



バレーボール部・女子

## 輝け聖高生!



放送部

祝 出場!!  
2020年5月  
富山県総合文化祭  
石川県立大聖寺高等学校PTA

谷保	愛華 (3年)
山下	夏美 (3年)
山下	楓佳 (3年)
西田	早穂 (3年)
鎌元	未穂 (3年)
高野	小雪 (3年)



野球部



バスケットボール部・男子

ご挨拶



大聖寺高等学校同窓会  
会長 長岡 義明

盛夏の候、同窓の皆様には益々ご健勝のことと存じ上げます。平素より同窓会活動に格別のご理解ご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、今春よりの新型コロナウイルス流行により、大変ご不便な日常生活を送られている方も多いのではないかとお察し致します。同窓会も恒例行事の理事会や総会・懇親会等が、感染防止対策の影響により中止となり、書面議決という方法を取らせて頂きました。

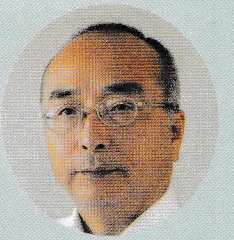
さらには、10月17日に開催予定しておりました学校創立110周年記念式典も、来年に延期になってしまいました。誠に残念でなりません。今は、早期の感染終息を祈るしかありません。

昨年、皆様にお願ひ致しました同窓会運営協力金ですが、早々に大勢の方々よりご協力をいただき、3月末現在で170万円を超えるご寄附が集まりました。今後の同窓会行事や、母校の教育活動の支援に使わせて頂く予定です。まず今年は、学校のコロナ対策費の一部にと、寄附をさせていただくこととなりました。この協力はこれからも毎年のお願ひとなりますが、よろしくご協力くださいますよう、心よりお願ひ申し上げます。

今年の110周年記念式典は延期となりましたが、来年の開催に向けて役員一同力を合わせしっかりと準備を進めて参ります。今後ともよろしくご協力を賜りますよう、お願ひ申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

※今号に限り、記念式典延期をお知らせするため7月発行と致しました。





前任ご挨拶  
前校長  
稲葉 幹雄

本年度、人事異動により金沢二水高校へと転任となりました。第二の母校ともいえる大聖寺高校で、校長としての時間を過ごせたことは大きな喜びでした。かつて十二年間在籍していた当時と全く変わることのない、同窓生の方々の温かさ、生徒の素直さ、職員の熱意を肌で感じる事ができました。わずか一年ではありましたが、大変充実した時間でした。教職員が私心を遠ざけ生徒のために労を惜しまず奮闘する、その教職員の違いに生徒が応えることで学校の活力が生まれる、そして大聖寺高校の伝統が形作られていく。少なくとも、二十年

前の大聖寺高校がまさしくそうであったし、私が校長として目の当たりにした大聖寺高校もそうでした。

しかしながら、取り巻く環境の変化は否めません。人口減少が顕著となり、少子化も進む中、学校としての魅力を一層高め、そのことを地域の方々にご理解いただく努力を続けたい限りは、いかに名門であろうともその地位に安穩と座してはられないという現実には直面しています。もちろん、このことは全国的に見られる動向であり、この命題を突きつけられている学校は至る所にあるものと思われれます。

地方創生という言葉にもありますように、各地域が活気に満ちることを願う気持ちは普遍するものと思われれます。ただし、一人一人の願いを糾合するものがあればより大

きな力になるのではないのでしょうか。思い起こされるのは、全国至る所にある様々なモノユメントです。偉人の業績をたたえるものであったり、災害の記憶をとどめるものであったり、先人の辛苦を慰撫するものであったり、その謂われは多岐にわたっています。それらは少なくとも、忘れてはならないものを忘れないようにするための装置と考えられます。

また、シンボルという言葉についても、これをわかりやすく説明するならば、人々の心をつなぐ機能ともいえると考えています。モノユメントやシンボルの意味を考えたときと同じことが、大聖寺高校についてもいえるのではないのでしょうか。大聖寺高校のことを耳にすれば地域を大切にす

る気持ちをおぼえてくる、その生徒の姿を見れば元気がわいてくる、そのような存在であり続けてほしいと願っています。

私の母は認知症となり、現在では息子の顔も定かではなくなっています。それでも、高等女学校に入学したこと、戦争で父親を失い退学を余儀なくされたことだけは、昔語りとして繰り返し繰り返し、そして繰り返し話をします。人生最大の喜びと、人生最大の挫折だけは、強く刻印され忘れることはできないのでしょうか。高校とはそんな尊い場所であるという深い感慨に誘われます。

本校は今年、創立百十周年を迎えます。私の母親のような思いが百十年分も堆積していると考えると、熱い思いがこみ上げてきます。決して疎かにすることはできません。大聖寺高校の末永い発展を心よりお祈りいたします。



新任ご挨拶  
校長  
土山 樹一郎

同窓生の皆様には、平素より母校の発展と在校生への支援にご厚情を賜り、心より御礼申し上げます。私は、本校三年間の教頭職任務後、前任の稲葉校長の後を継ぎ、四月より校長職を拝命いたしました。皆様どうぞよろしくお願いいたします。

本校は、教諭職の一五年間を合わせると通算一九年目を迎える私にとって、「教師としての母校」です。数多くの偉大な先輩方や関係の方々から、学習・進路・部活動指導のすべてを教わりました。特に進路指導においては、そのシステムや戦略、いわば「聖高メソッド」は当時県内随一と言われ、その頃の経験が私の教師としての方向性を決めてくれました。また、部活動においては、本校野球部出身の出仙幸雄監督の下、勝負に賭ける姿勢と選手掌握術を学び、それは後のテニス部の指導にも大いに生かされました。

また、生徒との数多くの出会いもあり、その記憶が今も鮮明に残っております。そんな生徒たちに囲まれたあの頃が私の教師としての土台を作り、今では良き想い出、貴重な財産となっております。そして、現在は県下有数の歴史と伝統を誇る本校の校長として、その任務の大きさに身の引き締まる思いであります。

さて、本校の現況ですが、この十年間の地域の少子化・高齢化の影響により、今年より各学年4クラス編成となりました。そこで生徒数減少をプラスに転化する様々な方策を実施しております。習熟度別少人数

授業の増加、志望別放課後補習や添削指導の強化、学年集会、文系・理系別等の集会、面談機会の充実等が挙げられます。また昨今の新型コロナウイルス感染拡大防止のための休業期間においては、各種教材等の郵送やメール配信、ホームページ利用は勿論、YouTube、GoogleClassroom等のICT機器を駆使して、朝礼・終礼のオンライン実施、自作作成の動画配信、同時双方向型のオンライン授業等により、生徒と滞りなく連携をとることができ、県内有数の最高評価を得ました。生徒と教員の距離感が絶妙という本校の特徴であり武器が、最新の道具や手段を通して、近未来に向けて脈々と受け継がれています。

今年度の学校経営計画の重点目標の一つに、「文武不岐を貫く、主体性溢れる生徒の育成」を掲げました。勉学と部活動等の課外活動は一体であり、互いに相乗効果をもたらすものであり、それを実践するためには、自らが目標を掲げ、目的を明確にし、責任を持つことが大切であると謳いました。そのような生徒を育てることが現代社会において高校の重要な役割と考え、加えて、令和二年度大入学入試制度が大きな変革を迎え、それに対応する力を自らがつけていくためです。

文部科学省は、高校時の学力が最高値である生徒よりも、大学、あるいは社会人になって飛躍を遂げる可能性が高い生徒を選別する新たな方法を模索し、高大接続改革を掲げました。共通テスト導入、英語四技能化重視、推薦入試枠拡大等がそれに該当し、高校現場もその対応が急務となっております。

最後になりますが、創立百十一年に向かい、主体性溢れた生徒と高い進路実現力を備えた教職員と共に一丸となり、本校のさらなる進化のために努力することをここに誓い申し上げます。新任のご挨拶といたします。



# 令和元年度 卒業証書授与式

令和2年3月3日  
(火) 午前10時より第72  
回卒業式が挙行されま  
した。

今年は、新型コロナウイルス  
のため、代表以外の在校生  
は出席せず、卒業生と保  
護者、限られた来賓のみ  
の式となり、同窓会から

は同窓会長 長岡 義明氏が出席されました。式  
次第も一部割愛され、また生徒・保護者の方々  
がマスクを着用する中、例年とはかなり雰囲気  
の異なる中にも厳かな式となりました。

長岡会長からは祝辞として、「他人を思いやる  
心、家族を大切にしておいて平和を願う心を大切に  
してください。」との言葉が卒業生に贈られました。

また答辞では、特進クラス(通称・SPARK  
S)に在籍した日野 希美さんが、支えてくれた  
人々への感謝の言葉を述べ、後輩たちに向け、自  
分の夢・やりたいことを見つけ懸命に努力するこ  
との大切さを話してくれました。

同窓会から卒業生へ卒業証書ホルダーが記念品  
として贈られ、176名の卒業生がそれぞれの道  
に向かって巣立っていきました。



## 令和元年度

### 卒業生の大学合格状況

本年3月に、176名が母校を巣立ちました。この学年は1学  
年5クラス募集の最後の学年であり、特進クラス(スパークス)  
の2期生に当たります。その令和2年度入試大学合格状況(合過  
年度卒)は以下の表の通りです。

今年度は、30年に及ぶセンター試験の最後の年となったことや、  
私立大学の定員の厳格化なども相まって、日本中の受験生が安全  
志向に傾く中、相当厳しい結果になるのではと入学当初から懸念  
されていました。そのため、学年会や進路指導課を中心に面談や  
集会を通して学校全体で高い進路志望を持たせ、丁寧な学習指導  
を行うとともに補習体制を一新し、志望別に大幅な選択制を取り  
入れた機動的な運用を行いました。結果、国公立大学に45名(前  
年比11名減、一昨年比4名増)が合格者することができました。

昨年のスパークス1期生には及びませんでした。難関の名古屋  
大学1名(昨年同)を確保し、金沢大学5名、福井大学8名(とも  
に昨年比1名増)など健闘してくれました。また久しぶりに防衛大  
学校1名の合格もありました。前期日程が終わり、さあこれから中  
期日程・後期日程に向けて頑張ろうというところで学校休業となっ  
てしまい、聖高伝統の最後の小論文指導や面接指導が直接できな  
くなり、中期・後期での合格が振るわなかったことが残念でなりませ  
んが、難しい環境のもと生徒はよく努力してくれたと思います。

私立大学については、関東地区の明治大学、法政大学など他、  
中堅大学や体育系大学への合格もありました。また、関西地区の  
有名校にもある程度の人数の合格者を出すことができました。

一方、地元県内大学においては、合格件数が昨年度から約半数  
となったところもあり厳しい結果となりました。受験生全体の安  
全志向・県内志向の影響を受けたとはいえ、やはり、英語・数学  
を中心とする受験学力が十分でなかったことが苦戦の大きな要因  
と思われ、課題を残しました。

今年度の3年生より4クラスとなり、特進クラスは3期生とな  
りますが、3カ月にも及ぶ学校休業を経験し、県総体総文や全国  
インターハイも中止の中、3年生は部活動を引退し、本格的な受  
験生となりました。入試改革の年にあたり、センター試験から大  
学入学共通テストに変更、更には日程の変更など、コロナとも  
に進む入試を乗り越え、進路実現を果たす年となります。聖高伝  
統の粘り強さに加え、新たな視点でより充実した環境を提供すべ  
く、我々教職員は mission, passion, action を合い言葉に全力で取  
り組む所存です。厳しい状況下にあります。今後とも同窓生の  
皆様の暖かいご協力ご支援をお願い申し上げます。

令和2年3月31日現在

国公立大学	帯広畜産大	1	金沢大	5	福井大	8	名古屋大	1	奈良女子大	3	国立大計	26名
	新潟大	2	富山大	4	静岡大	1	大阪教育大	1			公立大計	19名
	名寄市立大	1	石川県立大	1	公立小松大	5	長野県立大	1	新見公立大	1		
	新潟県立大	2	石川県立看護大	1	都留文科大	4	長野大	1	名桜大	1		
	富山県立大	1										
	防衛大学校	1										大学校計1名
私立大学	明治大	1	国際武道大	1	中京大	1	関西大	2	大阪総合保育大	3	私立大計	303名
	法政大	1	西武文理大	1	愛知工業大	1	龍谷大	13	桃山学院大	2		
	東京理科大	2	埼玉工大	1	愛知産業大	1	京都産業大	3	大阪樟蔭女子大	2		
	明治学院大	1	白鷗大	1	中部大	2	近畿大	6	梅花女子大	5		
	日本大	4	東北公益文科大	1	名古屋女子大	6	関西外国語大	6	神戸女子大	2		
	東海大	1	金沢星稜大	24	名古屋商科大	1	京都外国語大	3	神戸学院大	1		
	フェリス学院大	1	金沢工業大	23	名古屋経済大	1	京都女子大	2	びわこ成蹊大	1		
	東京農業大	1	金城大	25	人間環境大	5	佛教大	5	鈴鹿医療科学大	1		
	日本体育大	1	金沢学院大	37	東海学院大	4	京都橋大	1	皇學館大	1		
	桜美林大	1	北陸学院大	15	岐阜医療科学大	1	京都精華大	1	広島文教大	1		
	創価大	2	北陸大	16	岐阜協立大	1	京都造形芸術大	1				
	麗澤大	1	仁愛大	5	中京学院大	2	大阪産業大	2				
	関東学院大	1	福井工業大	32	同志社大	1	大阪体育大	1				
	川村学園女子大	1	福井医療大	4	立命館大	5	大阪成蹊大	1				

\* は難関10大学、 は北陸三県の大学



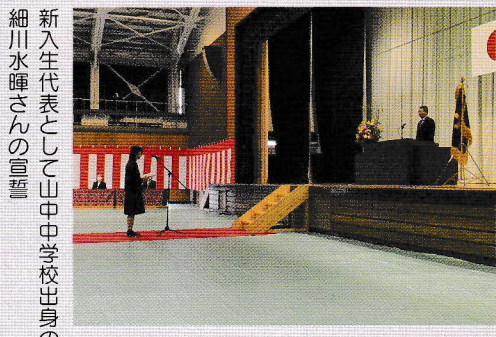
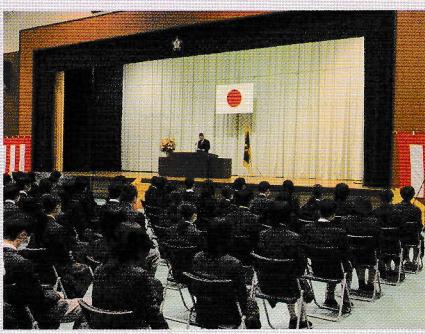


# 令和2年度 入学式

4月8日(月)午後2時より、本校第2体育館にて入学式が行われました。新型コロナウイルスの感染防止の観点から出席者も例年より制限され、また椅子の間隔も広く置かれた状態での入学式となりました。同窓会からは、長岡義明会長が来賓として出席しました。

新入生代表として山中中学校出身の細川水暉さんの宣誓、在校生代表の野村梨渚さんの歓迎の言葉が述べられ、閉式となりました。

各中学校別入学人数は、錦城26名、片山津18名、山代25名、山中10名、東和26名、橋立8名、南部13名、松陽9名、御幸13名、丸内3名、国府4名、芦城1名、中海1名、根上2名、美川1名、北星1名となっております。



新入生代表として山中中学校出身の細川水暉さんの宣誓

## 令和2年度 定例理事会及び総会・懇親会

### 中止のご案内

新型コロナウイルスが猛威を振るい、社会生活全般に支障を来す状況を踏まえ、参加者皆様の安全確保や感染防止等の観点から今年度の定例理事会及び総会・懇親会の開催を中止することいたしました。

尚、総会につきましては、本年度のみの限定措置といたしまして、議案を役員で精査し、文書にて理事、会員の皆様の承認を受ける「書面総会」という形をとらせていただくことといたしました。議案等詳細につきましては、例年通りホームページに掲載しておりますので、そちらでご確認ください。

同窓会会員の皆様におかれましては、毎年心待ちにしてくださっている総会・懇親会等を中止することは苦渋の決断ではありますが、緊急事態への対応とご理解いただけますようお願い申し上げます。

### 創立110周年記念式典及び

### 祝賀会延期のお知らせ

本年10月17日(土)に挙行を予定しておりました創立110周年記念式典ですが、新型コロナウイルスの感染の終息がまだ見通すことができず、参加者皆さまの安全確保や感染防止等の観点から、先日の役員会にて、記念式典及び祝賀会を、来年度に延期することと決定いたしました。

なお、今後の日程等につきましては、決定次第改めてホームページ等でご案内させていただきます。

### 銭谷 欽治氏から33年生へビデオメッセージ!



銭谷氏(昭和46年卒業、現在日本バドミントン協会専務理事)には、今年10月17日の本校創立110周年記念式典でご講演をしていただくこととなっておりますが、記念式典の延期を受け、現3年生へ約10分にもわたるビデオメッセージをいただきました。新型コロナウイルス感染症の影響で、本当に大変な1年を強いられている3年生に、少しでも今後の活力となればと快くお引き受けいただきました。

(来年度に延期された記念式典でも、引き続き講演をお願いしております。)

令和3年度の総会は、今年度お願いしております左記の方々を中心をお願いすることになります。新型コロナウイルスの影響により、周年記念式典・祝賀会が延期となり、学年幹事の皆様にはご迷惑をおかけいたしておりますが、引き続きよろしくお願ひ致します。この方々より、参加依頼がございましたら、是非ご協力ください。

- 平成16年度卒業  
沖野未知也 竹村麻美 藤岡 堯 井村理恵  
青柳陽介 細川詩織 向出 匠 塩口 舞
- 中村秀平 桑原麻有 松本慎吾 山口直子  
吉田悠馬 松本弥生 佐竹智樹 西山知江子
- 平成17年度卒業  
荒谷幸輝 水見 綾 田島一成 今井加奈子  
辻元友視 岡崎真衣 西出広喜 高畑侑里  
山田恭輔 穴澤有里恵 宮本一生 山口麻梨子  
後藤一則 西田有里 湊 亮介 石田京子
- 平成18年度卒業  
嘉野翔太 小森聡美 宮崎公平 黒田麻美  
大坂隼矢 村中 愛 山口結貴 西出百合香  
道券誠史 宮下紗絵子 辻 直人 北本成美  
北野良晃 米田亜起 (敬称略)



# 新型コロナウイルスによる自粛期間中の母校での対応

## 臨時休校期間中の本校の対応について

- 2月27日(木) 安倍首相より全国の小中高を対象に3月2日(月)からの臨時休校を要請
- 3月2日(月) 臨時休校要請を受けて、本校でも臨時休校を開始
- 3月3日(火) 感染症対策を行いながら卒業式を実施
- 3月10・11日(火・水) 感染症対策を行いながら学力検査を実施
- 3月23・24日(月・火) 感染症対策を行いながら、予備入学1、2年登校日を実施
- 3月24日(火) 感染症対策を行いながら、部活動の再開(4月8日(水)から再度中止)
- 4月6日(月) 県内の感染者数の増加を受けて、県教委より5月1日(金)まで休校を延長することが発表される
- 4月8日(水) 感染症対策を行いながら、始業式・入学式を実施
- 4月9・10日(木・金) 1～3年の分散登校日を実施

休校期間の長期化をうけて、学習機会を確保するために、学校独自の取り組みを実施…①

- 4月30日(木) 県内の感染者数が多いことから、県教委より5月29日(金)まで休校を延長することが決定  
学校再開に向けて、感染症拡大防止対策の徹底…②

- 5月20日(水)～ 学年別の登校日が開始(1・2年3日間、3年2日間、1日3時間学習)
- 6月1日(月)～ 通常通りに学校再開

### ①休校期間中の学校独自の取り組みについて

#### ■グーグルクラスルームを用いた休校中の取り組み

4月23日(水)から、グーグルクラスルームを用いて、休校中も生徒と密に連絡をとりながら、休校期間に力をつけることができるようにサポートしてきました。

内容は、学習の手助けとなる動画の配信、掲示板を用いて学習計画や学習方法についての助言を行う学習面のサポートに加えて、検温記録のチェックなど生徒の健康観察なども行っていました。

オンライン上ではありましたが、生徒と教員が密に連絡をとりながら休校期間を過ごすことができたことが、6月からのスムーズな学校再開につながっていました。



パソコンで生徒と連絡をとる担任

### ②学校再開に向けて、感染症拡大防止対策の徹底について

#### ■生徒全員へ布マスク(2枚)と冷感インナーマスク(5枚)を配布

学校としてマスク不足に対応するために、全校生徒へ4月下旬に郵送で布マスクを配りました。サイズも高校生にピッタリのものとなっており、学校再開後には多くの生徒が着用していました。あわせて、マスク着用による熱中症を予防するために、汗蒸れを防止できるインナーマスクも5月中旬に全生徒に配布しました。着用している職員からは、「暑さが和らぎマスクをつけたまま授業をしても息苦しくない」とこちらも大好評でした。

#### ■ドライブスルー形式の制服渡し【5月16・17日(土・日)】

6月の学校再開に向けて、1年生の生徒が夏服で登校ができるように、体育館の扉の前でドライブスルー方式の夏服渡しを行いました。当日は、1年生の担任が対応し、1か月ぶりに生徒一人一人と顔を合わせて話をすることもでき、生徒や保護者とのつながりを感じた制服渡しとなっていました。

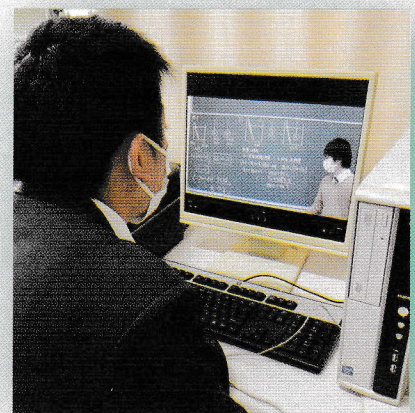


5月17日 北陸中日新聞朝刊記事より

### 〈本校独自の取り組み〉

- ・期間中の学習支援動画の配信数  
…合計418本(4月23日～5月31日)
- ・オンライン上での後ガイダンス  
(1日の学習のふりかえりと予定の確認)
- ・家庭学習で取り組んだ課題のチェックと添削指導
- ・オンライン上での質問対応 など

同窓会より本校へ、新型コロナウイルス感染防止対策へと、同窓会運営協力金より30万円でご寄付いただきました。ありがとうございました。母校生徒の為、大切に使用させていただきます。引き続き、同窓生の皆さまにはご支援のほど、よろしくお願いたします。(学校長 土山樹一郎)



物理のオンライン動画配信



## 部活動（聖高生の活躍、活動状況）

6月1日に学校が再開され、部活動は6月4日再開となりました。競技によっては総体、夏の選手権大会（野球）の代替大会が企画されております。そうした大会への参加は生徒個々の判断に任せられ、代替大会まで部活動を継続する生徒もいれば、受験勉強に切り替え、活動を6月の第1週で終了する生徒もいました。

いずれにせよ学校長がいつも話している「文武不岐」の考えを大切に、それぞれの進路実現に向かって努力していてもらいたいものです。以下に各部活動の6月前半の最後の部活動の活動を撮った写真を掲載します。

後輩たちのはつらつとした様子をご覧ください。



ESS部



ソフトボール部



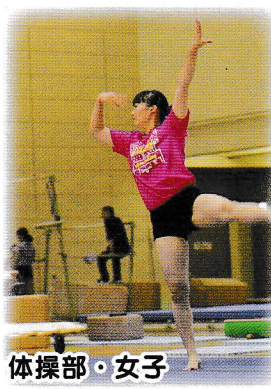
サッカー部・女子



華道部



バドミントン部・男子



体操部・女子



剣道部



バスケットボール部・女子



硬式テニス部・男子



サッカー部・男子



卓球部・男子



バドミントン部・女子



吹奏楽部



文芸部



バレーボール部・男子



茶道部



# 同窓会だより

## 古希後3年目の第2回同窓会

昭和40年卒 大竹 久江 (旧姓 田中)

去る令和元年10月23日、山中温泉翠明にて第2回聖高40年会同窓会懇親会が開催されました。

第1回目(平成28年9月4日、山代温泉瑠璃光)の参加者から見ると約2割弱減少の51名の参加でした。ホテル翠明大広間にて懇親会パーティーを、まずは、物故者の方々に黙禱を捧げました。

その後、オープニングセレモニーとして当会の幹事である北出早苗さん(藤間流の師範・藤間勘早)の舞い、日本舞踊清元・清海波から巖かに始まり、代表幹事上田政憲さんの開催挨拶と進みました。同じく幹事である庄源一さんの乾杯で、歓談に入りました。

戦後昭和21・22年生まれで今日まで何かにつけて競争率が高く、切磋琢磨して頑張ってきた世代でもある我々、互いに久しぶりに会って和気あいあいとお酒を酌み交わし話しに花が咲きました。

歓談の半ば頃、幹事の私大竹久江が、創作舞踊おんな傘を舞わせていただきました。その後、山中温泉の芸妓さんによる山中節の歌の指導を賜り、宴たけなわとなりそして大聖寺高校校歌斉唱、万歳三唱をして閉会となりました。

卒業してから今日の間、社会人として又家庭人として様々な苦勞を乗り越えて元気に明るく参加できた事は、日頃の努力の賜であり本当にありがたい事です。

第1回目に参加していた方が、亡くなられたと聞いたときは大変ショックでした。

今回の同窓会で、参加したくても孫守りで：とか親の介護で：とかいう方もおられました。又、まだ現役で活躍されていて出席できないという方もおられました。

何はともあれ、次会に向けて元気で再会を約束し、山中温泉翠明をあとに、楽しい貴重な想い出の1ページを作ることができました。



## 第71回 南加賀地区

### 中学校英語暗唱大会

11月2日(土) 図書館2階多目的ホールにて、同窓会主催の英語暗唱大会が開催されました。

来賓として、加賀市教育委員会教育長 山田利明氏、加賀ライオンズクラブ会長 萬谷哲男氏、山中ロータリークラブ会長(代理)吉本龍平氏をお迎えし、6中学校の代表23名が参加して行われました。

出場者の皆さんがそれまでの成果を発揮し、レベルの高いパフォーマンスを見せてくれました。上位入賞者は下記の方々です。

#### 3年の部

第1位 吉田 咲優(橋立)

第2位 富永 亜睿(東和)

第3位 新家 彩桃(山中)

#### 2年の部

第1位 澤出 こと初(山代)

第2位 田中 祐輝(橋立)

1年の部

第1位 山下谷 陸(錦城)

第2位 西口 夏羽(片山津)



## 英語暗唱大会に参加して

橋立中学校三年 吉田 咲優

私は「この大会で優勝するぞ」という強い気持ちで挑み、優勝できてとてもうれしかったです。それは、去年の大会では三位でとても悔しい思いをしたからです。去年は表現力が足りなかったのではと考え、今年自分表現しやすい話を選ぶことから始めました。

練習は一か月前からしかできなかったのに、覚えるのは三日間で完璧にすることを目標に頑張りました。その後は、細かい発音を直し、ジェスチャーを付けていきました。一番大事にしたことは、お話の情景を思い浮かべ、聞いている人に訴えかけるように話すことでした。そのため毎日練習し、とても緊張しましたが、練習通りに発表することが出来ました。

結果発表ではとてもドキドキしていましたが優勝することができ、嬉しかったと同時にホッとしました。優勝することが出来たのは、指導してくださった英会話スクールの先生方や、通わせてくれた家族のおかげです。

これからも大好きな英語の勉強に力を入れ、精進していきたくです。





同窓会運営協力金 (令和元年10月～令和2年5月)

ご協力いただき、ありがとうございました。

周年事業を控えていることもあり、高額の協力金を納入していただきました方々がいらっしゃいましたので、振込用紙の「芳名録への掲載不可」の欄に「※」を付けさせていただいております。

Table listing names and amounts of donations. Includes names like 松原 俊彦, 小野 善光, 高野 久嗣, etc., and amounts such as 32,323, 42,424, etc.

同窓生の皆様へ
同窓会・クラス会を開催された方々の記事を募集しています。また、当時の思い出や、同窓会へのご意見をお寄せ下さい。

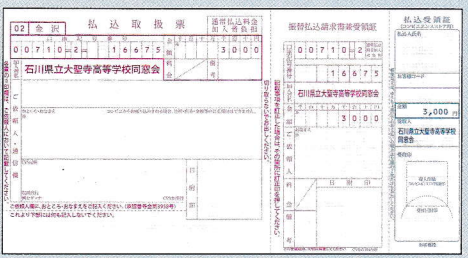
石川県立大聖寺高等学校 同窓会 事務局
〒922-8510
石川県加賀市大聖寺永町33-1 (鴻志館内)
TEL (0761) 73-2771
FAX (0761) 75-7117

同窓会運営協力金のお願い

昨年度よりお願いしております「協力金」につきまして、改めて納入方法等、下記に説明いたします。いま一度ご趣旨をご理解いただき、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。なお、ホームページでもご確認いただけます。

協力金の主な使用目的

- 1. 会報「聖流」の発行
2. 英語暗唱大会の開催
3. 母校の教育活動の支援
4. 支支部への総会祝金、役員出席の会費、旅費補助
5. 周年事業に向けて積み立て (基本財産)



協力金の納入方法

郵便局またはコンビニエンスストアにて振込取扱票 (同窓会会報「聖流」に同封されている用紙) でご送金ください。振込取扱票は2種類ご用意させていただいております。ご都合の良い方をご利用ください。振込手数料は不要です。お手元に会報等届いてない方は、お手数ですが事務局までご連絡ください。振込用紙を郵送させていただきます。

